

著書、学術論文等の名称	単共 著別	発表の 年月	発行所、発表雑誌等又は発 表学会等の名称	概 要
1 (学術論文)(原著) Take S, Kusumoto C , Okada H, et al. Risk of gastric cancer in the second decade of follow-up after <i>Helicobacter pylori</i> eradication.	共著	2020 年	<i>Journal of Gastroenterology</i> , 55(3):281-288, 2020	論文全体の概要; <i>Helicobacter pylori</i> 除菌は胃がんリスクを低下させることが知られている。本研究では、除菌後 10 年以上経過して発症する胃がんリスクを検討した。
2 (発表) Multicenter study of gastric adenocarcinoma of fundic gland type (10 collaborating institutions) Kusumoto C , Iwamuro M, Okada H	共同	2020 年	第 29 回日本消化器関連学会週間(JDDW) (ワークショップ), 神戸, 2020	発表内容の概要;2010 年に新しい胃がんの概念として提唱された胃底腺型胃癌の症例を岡山大学第一内科関連施設にて集積し、その臨床・病理学的特徴について検討した。
3 (学術論文)(原著) Ueyama H, Kusumoto C , Nagahara A, et al. Gastric epithelial neoplasm of fundic-gland mucosa lineage: proposal for a new classification in association with gastric adenocarcinoma of fundic-gland type	共著	2021 年	<i>Journal of Gastroenterology</i> , 56(9):814-828, 2021	論文全体の概要;胃底腺型胃癌は、免疫組織学的に発現するコアタンパク質の違いによって胃底腺型腺癌と胃底腺粘膜型腺癌に亜分類されることを提唱した。これらの違いによって悪性度を含めた腫瘍の生物学的特性に差が見られる可能性も示唆された。
4 (学術論文)(症例報告) 在留外国人の大腸アニサキス症例～過去約 30 年間における日本人の大腸アニサキス症報告例の文献的考察を含めて～ 楠本智章 , 伊藤百香, 武 進	共著	2021 年	消化器内視鏡, 第 33 巻, 第 12 号 1900-1905, 2021	論文全体の概要;アニサキス症は主に胃アニサキス症が多く、大腸アニサキス症はまれとされる。特に外国人症例はこれまでに報告がない。本邦におけるこれまでの報告例と合わせて検討した。
5 (学術論文)(症例報告) Kono Y, Kusumoto C , Okada H, et al. Rapid emergence of double-expressor lymphoma after <i>Helicobacter pylori</i> eradication therapy.	共著	2021 年	<i>Journal of Gastroenterology and Hepatology</i> , 36(2):299, 2021	論文全体の概要; <i>Helicobacter pylori</i> 除菌前には確認できなかった胃悪性リンパ腫が、除菌後に急速に増大した症例を報告した。
6 (発表) The best eradication therapy of <i>H.pylori</i> with Clarithromycin resistance in PCAB era Kusumoto C , Take S, Mizuno M, et al.	共同	2021 年	第 26 回日本ヘリコバクター学会 (主題 6), 浜松, 2021	発表内容の概要;PCAB が上市され、 <i>Helicobacter pylori</i> 除菌治療も大きく変化した。Clarithromycin 耐性菌が増加するなかで、最適な除菌方法を検討した。
7 (学術論文)(原著) Iwamuro M, Kusumoto C , Okada H, et al. Endoscopic features of oxyntic gland adenoma and gastric adenocarcinoma of the fundic gland type differ between patients with and without <i>H. pylori</i> infection: a retrospective observational study	共著	2022 年	<i>BMC gastroenterology</i> , 22(1):294, 2022	論文全体の概要; <i>Helicobacter pylori</i> 陰性胃がんとされる胃底腺型胃癌は同菌の感染者や既感染者でも発見される。胃底腺型胃癌における同菌の感染有無での内視鏡的特徴について、後方視的に検討した。
8 (学術論文)(原著) Nakayama H, Nakahara M, Kusumoto C , et al. Inactivation of axon guidance molecule netrin-1 in human colorectal cancer by an epigenetic mechanism	共著	2022 年	<i>Biochemical and Biophysical Research Communications</i> , 30(611):146-150, 2022	論文全体の概要;軸索誘導因子 netrin-1 は腫瘍の増殖・転移にも関与するとされる。本研究では、大腸癌の培養細胞および外科的切除組織において同物質が低発現していることを見いだした。

2023年4月1日現在